

緑の丘のような庭



Gunma Housing Award

02.



Concept 設計趣旨

L型の平面形状、緑の丘のような庭が特徴の家です。そこに住む家族そして家の成長がつづくよう「つづく家」と名づけました。つづくを実現するため、意匠・環境・設備・構造、コストの各分野において下記のような工夫をしています。

<意匠> 空間、内と外の連続性（つづく）を感じさせる平面形状ですが、軒を低く抑えることでめりはりや落ち着きを与えています。内部はすっきりした白の塗装仕上げを基調に構造用合板や柱、梁を現すことで質感のある室内としました。

<環境・設備> 外断熱・基礎断熱による高気密・高断熱化に加え、排気の熱・エネルギーを最後まで建物に還元する工夫を換気計画により実現しています。また、平面形状により夏は西日の遮断、冬はあえて西日を取り入れ帰宅時に暖かい室内の実現を試みています。夏や春、秋は高窓を利用した重力換気、冬はCO₂排出量ゼロといわれる薪ストーブをメインの暖房設備としています。

<構造> 構造は在来軸組み工法を採用し許容応力度法により構造計算による安全の検証を行っています。身近で一般的な構造方法ですが、構造が見える事を常に意識しながら構造計画を進め、豊かな空間を目指しました。耐震等級は特殊な平面形状でありながら2相当を実現しています。

<コスト> 柱、梁、構造用合板を現しとすることで、イニシャルコストの削減を図っています。また、構造耐力上必要な水平構面を小屋裏空間として利用することでコストを抑えつつも広い床面積を確保しました。ランニングコストは環境・設備面での工夫に加え、仕上げ材に焼杉の採用や新建材を使わない等によりメンテナンスが少なくなる工夫をしています。

02.

優秀賞 つづく家

Gunma Housing Award

設計者 / 株式会社 米田設計
 施工者 / 株式会社 津久井工務店

Review 講評

静かな住宅地、西南の前面道路に面した角地で、ほぼ正方形に近い敷地中央に緑の丘のような庭がどかな雰囲気を感じさせます。その中央に柱の木がシンボルツリーとして植樹され、根元を囲むようにクリーピングタイムが広がり、初夏には薄いピンクの花を丘いっぱい咲かせるそうです。その丘をL字形に囲むように建物が、庭からデッキを経て内部空間へと連続して配された「つづく家」のテーマがその通り実現されています。

軒を低く抑えた玄関へのアプローチに焼杉の外壁が優しく迎えてくれる。玄関からリビングの扉を開けると、柱や梁・垂木等の構造体現しの空間に薪ストーブと白壁が、程よく調和された空間があります。その奥に連続してダイニングカウンターを経て右にプライベートスペースへとつづきます。そのL形平面のコーナーに浴室・洗面・WCが配されています。その脇の小屋裏への階段を上ると広い屋根裏スペースが出現します。なんとなく懐かしさを感じる空間であり、子供達の探検スペースにもなっているそうです。

簡素な自然素材を使いながら、群馬の風土を考慮した質の高い空間が実現されています。

